

## ヨハネスブルク・サミット実施計画と循環基本計画の関係について

### 1. ヨハネスブルク・サミットの経緯

- (1) 1992年6月、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロにおいて国連環境開発会議（UNCED。いわゆる「地球サミット」）が開催され、環境分野における国際的取組の行動計画である「アジェンダ21」が採択された。
- (2) 地球サミットから10年目にあたる2002年には、これらの計画の見直しや新たに生じた課題等について議論するため、WSSDが開催された。

### 2. WSSDの概要

- (1) 開催地：南アフリカ ヨハネスブルグ
- (2) 開催時期：8月26日～9月4日
- (3) 開催規模：各国首脳及び国際機関の長が参加

### 3. WSSDの成果物

- (1) 内容についての政府間交渉を経た合意文書
  - 「ヨハネスブルグ・サミット実施計画」
  - アジェンダ21の実施を促進するための取組についての文書
  - 「政治宣言」
  - 持続可能な開発に向けた各国首脳の決意を示す文書
- (2) 各国政府、国際機関、NGO等が表明する取組をとりまとめた文書
  - 「約束文書」
  - (1)の文書を行動に移すためのパートナーシップ及びイニシアティブ

### 4. ヨハネスブルク・サミット実施計画と循環基本計画の関係について

ヨハネスブルク・サミット実施計画においては、「持続可能な生産消費形態への転換を加速するための計画に関する10年間の枠組みの策定」を持続可能な生産・消費パターンの実現に向けて推進していくこととされている。

具体的には、

- ・具体的な活動、手段、政策、措置及び監視評価メカニズムを、また適切な場合には、ライフサイクル分析及び進展具合を測るための国家指標を特定すること
- ・汚染者負担の原則を適用し、持続可能な生産消費形態の促進を目的とした政策と措置を採用し、実施すること

等とされており、我が国においては、現在、中央環境審議会循環型社会計画部会でご審議いただいている「循環型社会形成推進基本計画」を実施計画にある持続可能な生産・消費パターンの実現に向けた我が国の10ヶ年の枠組みを定める計画としたい。

## ヨハネスブルク・サミット実施計画の仮訳(抄)

### (3) 持続不可能な生産消費形態の変更(10カ年枠組み作成)

1.4. 資源の利用と生産過程における効率性と持続可能性を改善し、資源の劣化、汚染及び廃棄物を軽減することを通じて環境悪化に対処し、適切な場合には経済成長と環境悪化を分離することによって、生態系が持つ維持能力の範囲内で社会及び経済開発を推進するために、持続可能な生産消費形態への転換を加速するための計画に関する10年間の枠組みの策定を奨励し、促進する。 途上国のために、全ての支援源からの資金的及び技術的支援とキャパシティー・ビルディングを活用することで、先進国が先導し、開発途上国の開発の必要性和能力を考慮に入れつつ、すべての国が行動を起こすべきである。これは、あらゆるレベルにおける以下の行動を必要とする。

- (a) いくつかの国によって適用される基準は、他国、特に開発途上国にとっては不適切であり、不当な経済的、社会的損失でありうることを念頭におきつつ、具体的な活動、手段、政策、措置及び監視評価メカニズムを、また適切な場合には、ライフサイクル分析及び進展具合を測るための国家指標を特定すること。
- (b) 特に環境と開発に関するリオ原則の第16原則に記されている汚染者負担の原則を適用し、持続可能な生産消費形態の促進を目的とした政策と措置を採用し、実施すること。
- (c) 適切な場合にはライフサイクル分析のような科学に基づくアプローチを活用して環境及び健康に対する影響を減少させると同時に、提供される製品及びサービスを改善するために、生産消費政策を策定すること。
- (d) 地方、国家、地域の文化的価値を考慮しつつ、特に教育、公共及び消費者情報、広告やその他のメディアを通じて、全ての国、特に先進国の若年層と関係社会区分に向けた持続可能な生産消費形態の重要性についての啓発プログラムを策定すること。
- (e) 人間の健康と安全面を含む持続可能な消費生産形態に関する情報を提供するために、効果的で、透明で、実証可能で、誤解を招かず、差別的でない消費者のための情報手段を自主的に開発し採用する。これらの手段は偽装された貿易障壁として使用されるべきではない。
- (f) 関連国際機関と協力しつつ、相互に同意が存在する場合に、キャパシティー・ビルディング、技術移転及び開発途上国及び経済移行諸国との技術交換のために、すべての支援提供元からの資金的支援を利用して、環境効率性を高めること

## WORLD SUMMIT ON SUSTAINABLE DEVELOPMENT PLAN OF IMPLEMENTATION

### III Changing unsustainable patterns of consumption and production

14. **Encourage and promote the development of a 10-year framework of programmes in support of regional and national initiatives to accelerate the shift towards sustainable consumption and production to promote social and economic development within the carrying capacity of ecosystems by addressing and, where appropriate, delinking economic growth and environmental degradation through improving efficiency and sustainability in the use of resources and production processes, and reducing resource degradation, pollution and waste.**

All countries should take action, with developed countries taking the lead, taking into account the development needs and capabilities of developing countries through mobilization, from all sources, of financial and technical assistance and capacity-building for developing countries. This would require actions at all levels to:

(a) **Identify specific activities, tools, policies, measures and monitoring and assessment mechanisms, including, where appropriate, life-cycle analysis and national indicators for measuring progress,** bearing in mind that standards applied by some countries may be inappropriate and of unwarranted economic and social cost to other countries, in particular developing countries;

(b) **Adopt and implement policies and measures aimed at promoting sustainable patterns of production and consumption, applying, inter alia, the polluter-pays principle** described in principle 16 of the Rio Declaration on Environment and Development;

(c) Develop production and consumption policies to improve the products and services provided, while reducing environmental and health impacts, using, where appropriate, science-based approaches, such as life-cycle analysis;

(d) Develop awareness-raising programmes on the importance of sustainable production and consumption patterns, particularly among youth and the relevant segments in all countries, especially in developed countries, through, inter alia, education, public and consumer information, advertising and other media, taking into account local, national and regional cultural values;

(e) Develop and adopt, where appropriate, on a voluntary basis, effective, transparent, verifiable, non-misleading and non-discriminatory consumer information tools to provide information relating to sustainable consumption and production, including human health and safety aspects. These tools should not be used as disguised trade barriers;

(f) Increase eco-efficiency, with financial support from all sources, where mutually agreed, for capacity-building, technology transfer and exchange of technology with developing countries and countries with economies in transition, in cooperation with relevant international organizations.